

試料・情報利用研究計画書(概要)				
研究番号	2025-1019	利用形態	共同研究	
研究題目	ゲノムサテライト I I 領域の多様性の解析		研究期間	2025年11月 ～ 2028年 3月
主たる研究機関	公益財団法人がん研究会 がん研究所	責任者氏名・職	高橋 暁子	部長
分担研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構	責任者氏名・職	大根田 絹子	教授
研究目的と意義	<p>本研究は、膵がんのがん細胞やその周囲に存在する細胞(間質細胞)に特徴的な性質を利用して、膵がんの治療薬が有効かどうかを予め判断する方法を確立することを目指しています。その特徴とは、核内染色体の構造に変化をきたしていることと、サテライトIIRNAと呼ばれるある種のRNAの発現が高くなっていることです。</p> <p>最近、がんに関わっていない加齢によって、膵がんの細胞に見られるのと類似の染色体の構造変化やサテライトIIRNAの増加が見られることが分かってきました。また、祖先的背景(日本人集団とヨーロッパ系集団)によって、それらの特徴に相違が見られることが推定されています。しかしながら、日本人集団を対象とした、年齢による染色体構造の変化やサテライトIIRNAの発現量を系統的に解析した研究は行われておりません。</p> <p>そこで本研究では、東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホートまたは三世代コホートに参加された方のゲノムデータを用いて、年齢別にサテライトII領域のゲノム配列の個人による特徴と、サテライトIIRNAの発現量を調べます。</p>			
研究計画概要	<p>東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホートまたは三世代コホートに参加された方のゲノム配列情報を用いて、サテライトII領域のゲノム配列の個人による特徴を調べます。また、細胞の中で遺伝子がどのくらい働いているのかを調べるトランスクリプトーム情報を使って、サテライトII遺伝子の働きを調べます。次に、得られた結果が年齢や健康調査の結果と関連しているかどうかを調べます。</p>			
利用試料・情報	<p>対象:東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホートまたは三世代コホートに参加された方</p> <p>試料:なし</p> <p>情報:ゲノム解析情報、全血トランスクリプトーム情報、基本情報(性別・年齢)、調査票情報、検体検査情報、生理学検査情報</p>			
期待される成果	<p>本研究は、膵がんの治療効果をよくするための基礎的なデータとなります。また、染色体構造やサテライトIIRNAの発現量と様々な情報との関連を調べることで、膵がん以外の病気についても発症要因の解明や予後予測に役立つ成果が得られる可能性があります。</p>			
倫理審査等の経過	2025年11月 公益財団法人がん研究会医学系研究倫理審査委員会 (エピゲノム異常を標的とした新規膵がん治療戦略の開発)			
倫理面、セキュリティー面の配慮	<p>共同研究機関への情報提供と、その後の解析は、東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータを使って行います。</p> <p>東北大学東北メディカル・メガバンク機構において個人情報加工された試料・情報のみを用いるため、提供する情報には、個人が特定できる情報は含まれません。</p>			
その他特記事項	この研究は受託研究費(AMED)により実施します。			
(事務局使用欄)	*公開日 2025年12月3日			